



クリーニングの日

9月29日はありがとうを伝える日

～都留市のマスコットキャラクター「つるビー」に感謝状を贈呈～

山梨県クリーニング生活衛生同業組合

山梨県クリーニング生活衛生同業組合(松野彰理事長 組合員数63名)は、9月28日、都留市役所において、都留市観光親善大使のマスコットキャラクター「つるビー」に都留市の活性化に貢献し市民のために汗を流したことへの感謝状とクリーニングギフト券を贈呈した。

組合の上部団体である全国クリーニング生活衛生同業組合では、クリーニング業界のイメージアップや利用者への啓発活動と需要拡大を図るため、昭和57年から語呂合わせで9月29日を「クリーニングの日」に制定、全国各地の組合が様々なPR事業を展開している。本県の組合では、多くの人の心を癒やし地域のために汗を流している県内各地のマスコットキャラクターにリフレッシュしてもらい更に活躍してもらおうと、平成26年から毎年クリーニングの日に山梨県内の各市への貢献を称える感謝状とクリーニングギフト券を贈呈しており、今年も都留市の「つるビー」に感謝状を贈った。

セレモニーには、都留市の堀内富久市長と市の職員、松野理事長をはじめ組合の執行部が参加、堀内市長からは「山梨県クリーニング

生活衛生同業組合は、地域社会に密着し県民、市民の公衆衛生の維持向上に日々尽力していただき感謝している。身も心も綺麗になったつるビーは、これまで以上に都留市の観光振興などに頑張っていくことができます。」とあいさつがあった。



堀内市長と「つるビー」とともに記念撮影

松野理事長は、「山梨県は、10万人あたりのクリーニング店舗数が全国第3位と多いが、組合と組合員を県民にアピールする機会はありませんことから、クリーニングの日に合わせて地元に着目したPR活動の展開を行っている。クリーニング店は、染み抜きやドレスクリーニングなど様々な特殊技術を持っており、県民の皆さんには地元のクリーニング店を上手に活用して頂きたい。」と話した。